

様式第2号（政務活動実施報告書）

2018年4月3日

井原市議会議長

西田久志様

井原市議会議員 西村 慎次郎

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成30年3月31日（土）10:00～12:30
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	質問方法スキルアップ研修（初級）
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	高橋 伸介 氏
5. 活動内容	別紙①のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

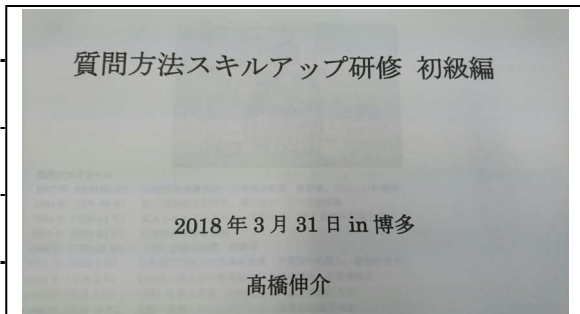
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

別紙①

■会場



■テキスト



【セミナーの概要】

■はじめに

100 の議会があれば、100 通りの議会運営があり、100 人の議員が居れば、100 の正義がある。議会は議員により合議し議決する機関である。

■一般質問とは

議員が市政全般に対して市の見解を求め、疑問をただすもの。議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問をすることができる。質問者は、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告しなければならない。

「ただす」とは、「正す」でなく「質す」ことである。

■一般質問のポイント

◎一般質問では、知っていることを聞き、知らないことは聞かない。自分の事前勉強と十二分なヒアリングを行うという意味。議場ではわからないことを尋ねない。

◎現在では、一般質問において、行政に対する政策提案にもウェイトが置かれるようになった。

■質疑のポイント

質疑とは、議案に対する疑問点をただすこと。

◎議題以外の発言はできない。

◎単なる「演説」「要望」はタブー。「指摘」は可。「要望」するなら書面でする。

※常任委員会での「質疑」は、質疑の範囲をやや広く運用されることが多い。

別紙①

■質問のレベル

◎レベル1 地元・住民要望型

多くの議員が得意とする分野。自身の議員報告でもアピール度MAX。

◎レベル2 財政・市政に関するチェック型

決算カードを読み切る必要がある。歳入歳出状況、税収状況、経常収支比率、臨時財政対策債、ラスパイレス指数、財政調整基金などの基礎的理解が必要。

◎レベル3 行財政改革型

レベル2を理解したうえで、執行部が切り出しにくい合理化、組織運営、各種削減課題を指摘。

注意点として、「容易な質問」と「高度な質問」が混在しており、有権者が理解できない領域がある。

◎レベル4 政策提案（立案）型

市民の暮らしに直接かかわる一般施策に関する議員提案。

■議員にとっての新たな武器

リーサスRESAS（Regional Economy (and) Society Analyzing System）

地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するために、内閣府のまち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステム。

■トップにより質問の仕方を変える

◎優秀な市長

めったにおられないが、議会は、太刀打ち困難。議会レベルも上がるがひたすら協力していくことが多い。

◎善良な市長

議会・議員の戦略・戦術で成果あり。日ごろからの直接の話し合いが有効。

◎政治的な市長

駆け引きで成果を狙う。市長・議員ともに市政の発展、住民福祉の向上と崇高な任務がある。議会がまとまれば、条例を打ち出して施策を進めることも可能。

別紙①

■ 執行部から見た議会質問

市長の見方と似ているが、議員の仕事力については、よりシビアに見ている。

◎勉強不足なのに上から目線（素直になってほしい）

◎選挙前だけは異常に頑張る（常に頑張ってもらいたい）

◎日頃何をしているかわからない（見えない）

執行部が身体でわからない問題を具体的に指摘・改善策を出してもらい、執行部は「なるほど」と思いたい。

■ おわりに

議会の監視評価機能と政策立案機能を発揮する方向（質問）で進み、そのプロセスには、「見える化」が求められる。このことが地方自治の本旨（住民自治・団体自治）につながる。

【所感】

今回は、「質問方法スキルアップ研修（初級編）」というセミナーを受講した。

議会での質問の基礎基本から執行部が「なるほど」と思う質問方法のポイントを学んだ。一般質問と議会質疑の違いや常任委員会質疑の範囲の違いなどがあるとのことであった。質問スタイルをレベル1からレベル4まで分類できるということは納得できる分類であった。ただ、レベルとしてランク付けするべきかどうかは、考える必要がある。分類という考え方で良いように個人的には感じる。

それから、質問に先立ち、ヒアリングの重要性は強く言われていた。知っていることを質問という考え方も共感できる。いずれにしても、勉強・調査など事前準備をしっかりと行って質問をすべきということである。

リーサスについては、まだ見たことがないので、勉強してみたい。今後、うまく活用できれば、より具体的に説得力のある質問ができると思えた。

今回学んだことを、今後の一般質問に活かしていきたい。

以 上